

6年生のページ

修学旅行記②～金閣寺・二条城～

次の見学地は金閣寺。時代は室町時代にさかのぼります。

教科書や資料集では何度も見た金閣寺ですが、実際に見てみるとやはり輝いていました。くもりにも関わらず「思ったよりも輝いていた」と答えた人が多く、室町時代の栄えていた様子を感じていました。また、外国人の観光客が多く、子ども達はそれにも驚いていました。



ここでは、練習した「早並び」を披露し、混雑した中でも集合から撮影まですばやく行うことができました。いつもと違う場所でも落ち着いて行動することができる6年生を頼もしく思いました。



続いての見学地は、二条城です。ここは、江戸時代の初めに建てられ、江戸時代から明治時代へと変わる「大政奉還」が行われた場所、つまり江戸時代の始まりと終わりを見てきた城です。



唐門

まず迎えてくれたのが「唐門」です。細かい部分まで彫刻が飾られた門を見て、子ども達は400年以上も昔の職人の技術の高さに驚いていました。

そして、いよいよ二の丸御殿へと入りました。うぐいす張りのろうかの音を聞きながら、ふすまに描かれた立派な絵を見て歩きました。



二の丸御殿



うぐいす張りの仕組みを、外から見て勉強しました。昔の人の知恵はすごい！

城の広さや造りから、子ども達は当時の将軍の力の大きさを感じていました。これだけの力をもった徳川家の時代から、なぜ明治時代へと変わるようになったのでしょうか。その移り変わりの時代については、もう少ししてから学習します。この二条城で見てきたことや感じたことを思い出しながら、学習に活かして欲しいと思います。